

集落支援員だより

第22号

発行者 東和地域集落支援員
連絡先 66-2490
発行日 令和3年12月23日(木)



木幡地区で

28年続く健康習慣

平成5年から、木幡地区の水舟高槻、問屋のスポーツ好きが集まり、木幡グラウンドゴルフ愛好会が発足しました。ほとんど木幡地区全域にグラウンドゴルフの楽しさが広まり、約90名の大所帯となり活動を続けてきました。しかし、年々会を退く一方で発足から28年経った現在は、50名程となっています。



木幡グラウンドゴルフ愛好会長
三浦寛恵さん

惜しいことに今、愛好会の基盤となる老人会の入会も減っていることは事実であり、会員が減少傾向にあることが悩みの種であります。愛好会の活動目的は、地域での仲間づくり、健康づくり、そして「三

二ヶーションを持つこと、それらを大切にしています。

コロナ禍で大会が中止に

現在、コロナ禍で今までの大会は軒並み中止に。隣近所での付き合っても疎遠になりがちです。早くコロナが収まり、元の生活に戻って全てにおいて誰もが何にでも参加し楽しめる日が来ることを願っています。

気楽にできる健康づくり

木幡グラウンドゴルフの練習場は水舟グラウンドで、水曜日と土曜日の週二回実施。また、月一回の例会も催しています。

年をとったら

笑って過ごしましょう

健康づくり・生きがいづくり

講演会開催

主催は東和方部老人クラブ連合会、講師に新殿出身で総合南東北病院 院外科医長の佐藤直(あたい)先生をお迎えして、11月23日に東和文化センターにおいて開催されました。(集落支援協働事業補助金活用 人生100年時代、楽しく健やかに過ごすために、体力づくりや「ミニ

二ヶーションの大切さ、自分がこれからのように過ごしたいかを「人生会議」で大切な人に伝えようなどと、暮らしのヒントがいっぱいの内容でした。

なかでも、年を取ってからは映画の中の高倉健を目指すのも良いが、志村けんのように大いに笑って過ごしましょう、という話に会場は盛り上がりました。

各団体と連携しています

また、社会福祉協議会、東和地域包括支援センターから身近な相談窓口としての周知もあり、今後連携しながら、若い世代から高齢世代まで、いろんな場でこのような学びの場と、よく話し、よく笑える場をつくらせていきたいと思えます。



総合南東北病院外科医長
佐藤直(あたい)先生

子どもからおじいちゃん おばあちゃんも参加

針道2区で防災訓練実施

11月28日、針道2区では、元気な集落づくりの一環として、地震発生を想定した「避難訓練」、出火を想定した「防火訓練」、炊き出し訓練(非常食の試食)を全世帯対象に実施しました。

避難訓練では震度6強を想定し、指定避難場所である東和文化センターへ避難、防火訓練では東和生きがいセンターからの出火を想定し避難しました。子どもからお年寄りまで40人の参加があり、高齢者世帯への声かけと避難支援、非常持ち出し袋の準備など防災意識の高揚に努めました。



家族そろって消火訓練

黒毛和牛と継ぐ人

武藤さんの父母は乳牛を育てて搾乳をする、いわゆる酪農家でした。しかし、設備等の不具合が生じたため、やむなく2009年に黒毛和牛の肥育に方向転換しました。



木幡地区
武藤道夫さん

武藤さんの経営形態は、和牛の繁殖、肥育が主な仕事で約140頭の牛の管理、牛の運搬、また同集落で農業を離れた方の農地も耕作し、約2町歩の稲作を行っています。

いっしょにできない

棚田の芸術祭開催

太田地区の布沢一区で、国の指定棚田地域に認定されたことを記念し、10月31日に棚田の芸術祭が開催されました。

耕地の管理は3年も離れてしまうと再起には相当の労力がかかり、金銭的にも負担になり、また、環境を考えると地域が荒廃していくのを黙って見過ごすわけにはいかないと武藤さんは語ります。

生き物と向き合う

父の代から牛飼いの仕事に携わり、自分が経営を任されて6年になりました。仕事では決まったサイクルで良い牛を生産するというのを常に心がけているという。生き物を扱っているため、年中忙しく動き回っていますが、親子が仕事を分担してムリなく楽しみながら毎日を過ごしているそうです。

さわやかな風コーナー

洋菓子作りが好き

太田パティシエの日も

看護師の資格を持ち、川俣の特別養護老人ホームで働いている太田由紀さん。好きなこと、東和の魅力を沢山話してくれました。

♡楽しみは食べる♡

洋菓子作りが好きな太田さん。老人ホームでは「太田パティシエの日」があり、娘さんと一緒に作ったケーキやプリンなどが振舞われ、皆さんで楽しんでいるそうです。娘さん(次女)の夢は、ケーキ屋さんとのことで将来が楽しみです。

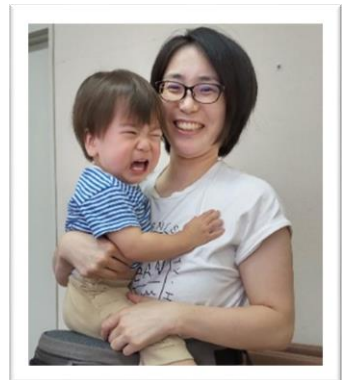
「天女の会」のおもてなしもさることながら、「環境を守る会」共々一体となり、集落の活性化、さらには集落の結束が感じられた実りの秋の芸術祭でした。



案山子コンテスト
大賞「アマビエ」

♡東和 魅力がいっぱい♡

吹く風が気持ちいい、隣が遠いので伸び伸び育てできる、自家用のコマ・野菜が美味しい。若連の山車づくりを見ているといいなあと思う。消防団も身近で安心。桜の名勝が身近にある。福島・郡山にも働きに行ける距離。おじいちゃん・おばあちゃんのサークルが多く認知症予防になっているなど、いろんな視点で魅力を語ってくれた素敵な女性です。



太田地区
太田由紀さん

—編集後記—

「集落支援員だより」は、東和地域の情報や地域活動等をお届けしています。

どんな小さな活動でも取材に伺いますので、載せたい情報がありましたら、集落支援員までご連絡ください。

感染症予防には手洗いうがいの徹底はもちろん大切ですが、自己免疫力を保つために適度な運動、バランスのとれた食事、十分な睡眠も大切です。

東和支所地域振興課(集落支援員)

問い合わせ先: 66-2490(直通)

